

解説と指導のポイント付き!

みんなが知らない
アンゴラ
のこと

現地の中学生に聞いたよ!

JICA

JICAは、日本の政府開発援助(ODA)を行う機関として、開発途上国への開発協力を実施しています。

みんなが知らない
アンゴラのこと

ワークシート

1. 「アンゴラ」の冊子を読んで、興味をもったこと、疑問に思ったことは何でしょうか。
.....
.....
2. アンゴラがかかえている課題を解決するために、
どういう取り組みをしたらよいと思いますか。
あなたの考えを書きましょう。
.....
.....
3. 将来、アンゴラで仕事をするとしたら、あるいは、アンゴラの人と
いっしょに仕事をするとしたら、どんな仕事をしてみたいと思いますか。
それはなぜでしょうか。
.....
.....

年 組 氏名 _____

紙教材裏表紙の
ワークシートを
授業の振り返りに
活用ください。



活用の手順

- 1 「アンゴラ」に対して知ったこと、興味をもったことを、まず、生徒同士で対話する時間をつくる。
- 2 各自がワークシートに自分の意見を記入。
※裏表紙に直接書き込むか、教師が前もって、人数分のコピーをとって配り、書き込んで回収してもよい。
- 3 記入したワークシートは、各自のポートフォリオに加える。

- ワークシートのねらい
- 感想を文章化する作業を通して、自分の興味・関心を認識し、今後の行動につなげる。
 - 国際社会に対する視野を広げる。
 - 国際協力の可能性と大切さに気づく。
 - キャリア教育の視点でアフリカとのつながりを考えることで、職業の選択肢を広げる。

2021年5月1日 初版発行
発行：独立行政法人 国際協力機構(JICA)
本書に関するお問い合わせ：JICAアフリカ部アフリカ第三課
〒102-8012
東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
Tel：03-5226-8215(年末年始土日祝日を除く9:30~17:45)
E-mail：6rta3@jica.go.jp
URL：https://www.jica.go.jp/



監修：天笠茂(千葉大学 名誉教授)
村尾るみこ(総合地球環境学研究所 研究員)
落合雄彦(龍谷大学 法学部 教授)
編集制作：株式会社 ワン・パブリッシング
編集協力：株式会社WILL
イラスト：伊藤美樹
デザイン：chocolate.

国連SDGs HP(https://www.un.org/sustainabledevelopment/)
The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.

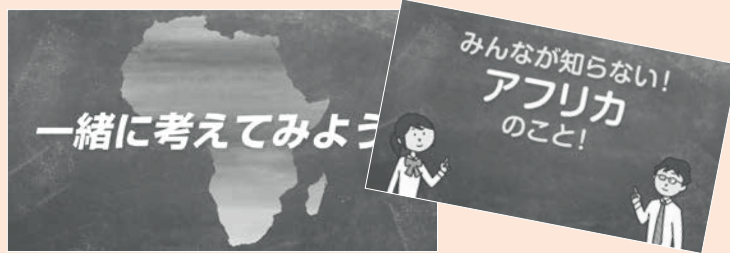
※国旗は、国連と同じく3:2のサイズで掲載しています。

『みんなが知らない
アンゴラのこと』

教材の構成と特徴

『みんなが知らないアンゴラのこと』は、アンゴラ共和国について知り、興味を抱くための中学生向け動画・紙教材です。アフリカ編動画・紙教材と組み合わせての使用で、「アンゴラ」に対するより深い理解や、生徒の視野の広がりが期待できます。それぞれの教材の構成や特徴は、以下の通りです。

A アフリカ編動画



ポイント

再生時間は約4分。「アフリカ」に対する生徒の興味を引き出すのに適した教材です。導入場面での使用が効果的です。

B アフリカ編紙教材

目次

- ・巨大な大陸アフリカ!
- ・けたちがいのダイバーシティ!
- ・世界がうらやむ資源の宝庫!
- ・注目のアスリートがひしめく!
- ・身近なモノでつながっている!
- ・人もこんなにつながっている!
- ・こんなふうに進んでいくよ!



ポイント

「アフリカ」の概要を学ぶための教材です。アフリカがもつたちがいの多様性から、課題解決の方向性まで、多角的に示しています。

C アンゴラ動画



ポイント

再生時間は約5分。「アンゴラ」について「もっと知りたい」気持ちを引き出すのに適した教材です。導入場面での使用が効果的です。

D アンゴラ紙教材

目次

- ・ストーリー
- ・アンゴラってどんな国?
- ・アンゴラの中学生的こと
- ・スポーツと音楽、そしてダンスを愛する人々
- ・残された自然と戻ってきた野生動物
- ・人々の命と安全を守り、健やかな成長を実現するために



ポイント

「アンゴラ」がもつポテンシャルや課題を解説。その課題にJICAがどう協力して、解決を模索しているかがわかります。

教材使用パターン

4種類の教材は関連性のある構成になっていますが、状況に応じて切り離して学習するなど、さまざまな使い方に対応します。

ショート (50分×1~2コマ)

Aは、できればCの授業前に、学級活動などの空いた時間を利用して視聴するとよいでしょう。またBは、読む学習にも活用できる教材です。Cの授業前に配布し、生徒が読んでおくことでCの授業の下地をつくることができます。



C アンゴラ動画

所要時間例：10~20分

アンゴラの基本情報を確認し、アンゴラがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D アンゴラ紙教材

所要時間例：40~80分

アンゴラについての深い学びにつながれます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

スタンダード (50分×2~3コマ)

A アフリカ編動画

所要時間例：10~20分

動画の視聴後に感想を言い合うなど、アフリカに対する興味を引き出す対話を促していきます。

Bは、読む学習にも活用できる教材です。Cの授業前に配布しておくことで、生徒同士の情報共有につながります。



C アンゴラ動画

所要時間例：30~40分

アンゴラの基本情報を確認し、アンゴラがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D アンゴラ紙教材

所要時間例：50~100分

アンゴラについての深い学びにつながれます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

フル (50分×4~5コマ)

A アフリカ編動画

所要時間例：10~30分

動画の視聴後に感想を言い合うなど、アフリカに対する興味を引き出す対話を促していきます。

B アフリカ編紙教材

所要時間例：40~70分

対話しながら見聞きごとのテーマで読むことができます。考察の発表、調べ学習、ポートフォリオなど、導入、展開、まとめに幅広く活用できます。

C アンゴラ動画

所要時間例：10~30分

アンゴラの基本情報を確認し、アンゴラがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D アンゴラ紙教材

所要時間例：90~120分

アンゴラについての深い学びにつながれます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

授業への取り入れ方例

APPROACHES TO TEACHING

年間指導計画にどう位置づけるか(例)

この教材は、「総合的な学習の時間」の国際理解教育での活用が想定されますが、内容の一部を道徳や各教科学習をはじめ、横断型の学習に位置づけても活用できます。また、教育活動全体を通じて行われるキャリア教育にも適しています。

教材には、生徒が「アフリカ」と「アンゴラ」について多面的に理解し、関心をもつとともに、日本との関わり

り及び国際協力について理解するというねらいがあります。

生徒が興味をもちやすい話題を入り口として、SDGsやアフリカ諸国の課題にもふれる構成になっています。探究課題の設定や、課題解決に向けた主体的で対話を通じた協働的な学習などに生かしてください。

年間指導計画の記載例を、以下に示します。

国際理解教育(総合)	道徳	社会ほか(教科)
「アンゴラ」について学ぶことで、異文化の存在を認める寛容性を身につけられるようにする。学ぶにあたっては、適切な情報を収集したり選択したりできるメディア・リテラシーを身につけられるようにする。	「アンゴラ」について学び、さまざまな価値観をもつ人と尊重し合いながら生きるために視野を広げられるようにする。正解が1つではなく、自ら考え、多面的・多角的な見方ができるようにする。	「アンゴラ」についての多面的・多角的な考察を通して、国際社会で主体的に生きるための資質・能力の基礎を養えるようにする。個人の社会的な活動への参画が国の平和や繁栄につながることに気づくようにする。

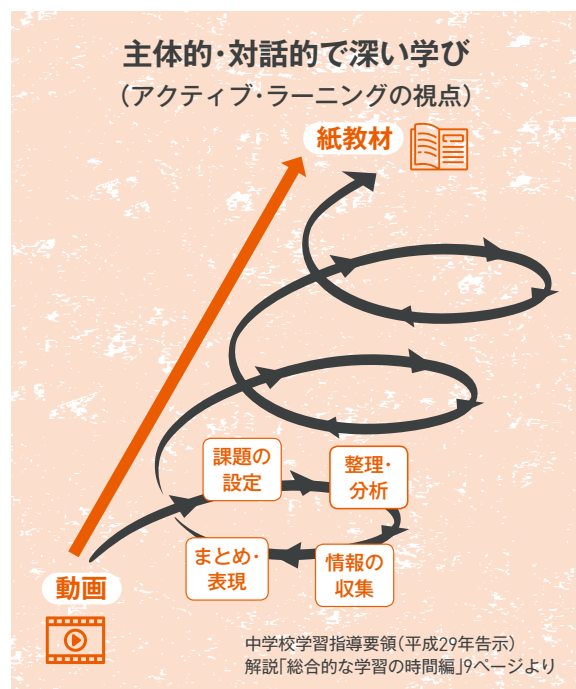
平成29年・30年改訂 学習指導要領との関連

何ができるようになるか

「アフリカ」特に「アンゴラ」の文化や歴史から課題を理解する「知識及び技能」、適切な情報を収集し考察した結果を人に伝える「思考力、判断力、表現力等」、学びを自分の生き方に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育むことができます。

どのように学ぶか

動画教材では、主体的に学ぶための興味・関心を引き出すことができます。紙教材では、考えたり話し合ったり調べたりする活動を通して、主体的・対話的に学ぶことができます。よりよい課題解決に向けた「深い学び」にも適しています。



「総合的な学習の時間」の国際理解教育

学習の成果を存分に発揮するゴール(まとめとなる活動)を、単元の授業時数に応じて設定しましょう。

生徒が「アフリカ」や「アンゴラ」を身近に感じ、自分のこれからの生活に関わるものの一つとしてとらえるようになる姿を想定するのがポイントです。

学年全体で

- * クラス、または学年全体で学習発表会を行う
- * 次年度入学してくる小学6年生に向けて伝えたい内容をまとめ、出前授業をする



教科横断的に

- * ワークシートをまとめ、ポートフォリオに加える
- * 調べ学習の成果を壁新聞にして、掲示する
- * 学習して得た情報や「アンゴラ」のイメージをもとに自由に作品をつくり展示する
- * 「アンゴラ」の課題から自分にできることを考え、それをポスターなどで表現する
- * 「アンゴラ」の魅力を伝えるCM映像をつくるなど

各教科の授業でも

各教科の授業では、教材の一部を、学習事項と関連づけて活用することができます。下記は、活用方法のほんの一例です。

- * 国語科…紙教材のストーリーを読んだ感想を文章にまとめる
- * 社会科…紙教材の内容に関連する「アンゴラ」のニュースを、ネットなどから探して読んでみる
- * 数学科…相似や比などの図形の学習と関連づけて、「アンゴラ」の国旗を作図してみる
- * 理科…「アンゴラ」のような気候で育つ植物について気づいたことを言ってみる

- * 音楽科…この楽器は何でしょう？ この楽器の音はどれでしょう？ といったクイズをする
- * 美術科…「アンゴラ」の伝統的な衣装の色合いや模様の中に、造形的な美しさを感じ取る
- * 技術科…ICT(情報通信技術)について、日本の普及状況と比べて考える
- * 家庭科…「アンゴラ」の料理やレシピを調べる
- * 保健体育科…「アンゴラ」で人気のスポーツについて調べる
- * 英語科…「アンゴラ」の公用語や地域ごとに違う言葉を調べて、聞いたり話したりしてみる

たとえば数学で…

このページのグラフと日本のグラフを比べて…の計算をすると…

見開きごとの
テーマがあるので
各教科に取り入れ
やすい!



指導計画と授業展開の例

TEACHING PLANS AND EXAMPLES

このページでは、主に総合的な学習の時間の「国際理解教育」にこの教材を位置づけたときの単元のねらい、評価の観点、授業展開や評価の例を紹介しています。

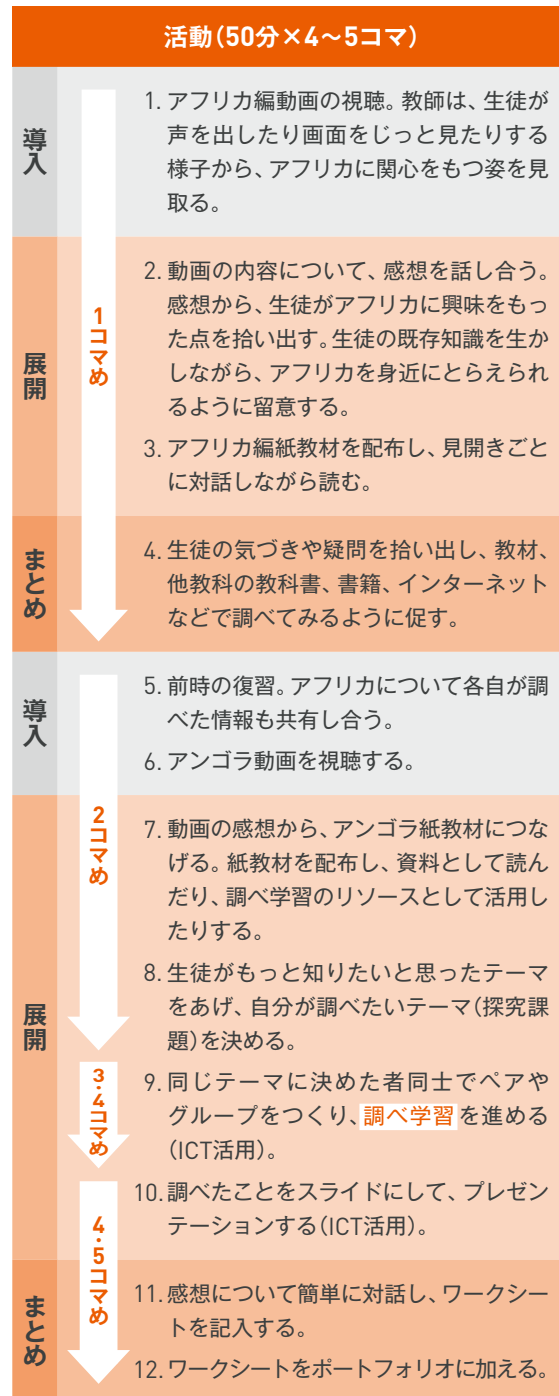
授業展開例 (フルバージョン)

ねらい

- 「アンゴラ」について理解を深める。
- 多様な文化を認める寛容な心を身につける機会とする。
- 国際協力を、自分の生活とのつながりの中でとらえ、これからの生活に生かそうとする態度を育てる。
- 「アンゴラ」のもつ課題に気づき、身近な問題に結びつける。
- 課題を解決するために必要な知識及び技能を身につける。

評価の観点

- 知識・技能**
- 教材を活用し、人々の暮らし、産業、地理、気候、歴史、文化などを通して「アンゴラ」を知る。
 - 地図帳や教科書など、各教科の資料や教材をリソースとして再活用する。
- 思考・判断・表現**
- 「アンゴラ」とのつながりを身近なものとしてとらえ、自ら学習テーマを設定する。
 - 学んだ内容を分析・再構築し、他者にわかりやすく説明したり作品として表現したりする。
- 学びに向かう力**
- ペアやグループでの協働学習を通して、友達と交流したり他者の考えにふれたりして、人との違いや多様性を楽しみながら学び合う。



ポイント①
社会科の地図帳などの生徒の持ち物や、学校図書館の本なども活用しましょう。

ポイント②
解説が必要な用語は、8ページ以降の「指導のポイント」に掲載があります。

ポイント③
ワークシートについて紙教材の裏表紙に、授業のまとめで活用できるワークシートを用意しています。



学習活動と評価(例)

この教材は ①知らない文化に興味をもって調べる活動、②異文化を認め合う寛容性を育む話し合い活動、③「アンゴラ」のもつ課題や国際協力について考察する活動など、さまざまな学習活動に対応します。それらの活動での生徒の姿を見取り、評価につながれます。
ここに生徒の活動の姿の見取りと評価の例(所見)を紹介します。

興味をもって聞く

冊子を読んで「アンゴラ」に興味をもち、自らの感想を周囲に伝えることができました。

疑問を抱く

「アンゴラ」のもつ課題に関心や疑問を抱き、それを自らの学習テーマとして設定し、調べ学習にも主体的に取り組みました。

日本とのつながりや、自分とのつながりについて考える

資料から得た情報を日本と比べて考察し、「アンゴラ」のもつ課題を自分の身近な問題としてとらえることができました。

調べたテーマについて日本がどう関わっているかを考察し、結果をわかりやすくまとめてプレゼンテーションすることができました。

考えを話し合う

「アンゴラ」について調べた情報について、ペアの人とよく話し合いながらプレゼンテーションの内容を決めていくことができました。

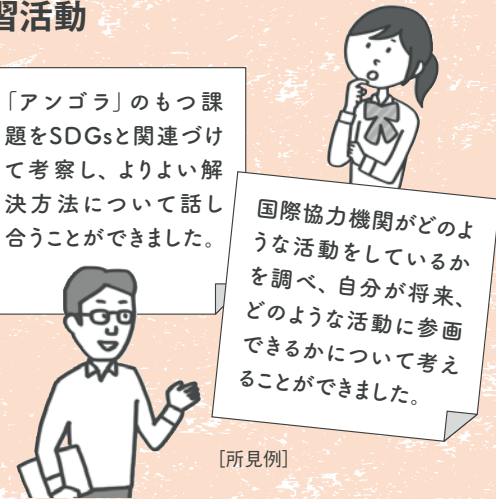
「アンゴラ」のもつ課題に着目し、自分で調べた情報や友達が調べた情報を整理しながら話し合いを進めることができました。

発展的な学習活動

この教材では、「アフリカ」特に「アンゴラ」について知るなかで、その国のもつ課題とSDGsとを結びつけて、よりよい解決方法について考えていくことが、一つの発展的な学習活動として考えられます。
また、JICAなどの国際協力機関の存在に気づき、どのような活動をしているのかを調べたりして、自分はどのような社会的活動ができるかなど、生徒が主体的に進路を選択していくためのキャリア教育にもつなげられます。

「アンゴラ」のもつ課題をSDGsと関連づけて考察し、よりよい解決方法について話し合うことができました。

国際協力機関がどのような活動をしているかを調べ、自分が将来、どのような活動に参画できるかについて考えることができました。



[所見例]

「アンゴラ紙教材」の指導のポイント

COMMENTARY AND TEACHING POINTS

アンゴラの2002年まで続いた27年にわたる内戦からの復興と、多角的な開発に向けた経済成長の可能性について、具体的に紹介しています。

2~5 ページ

導入・発問例

- 1 写真とタイトルを見て、気づくこと、あるかな？
 - 2 アンゴラには、どう行くのかな？ 何時間くらいかと思う？
 - 3 地図帳で、アンゴラの飛び地※を見つけてよ。
 - 4 石油からつくられるエネルギーについて調べよう。
- ……**数学科**
……**社会科**
……**理科**

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

海辺に広がる大都会!
石油とダイヤモンドの国の内戦の傷あとと復興

1

2

3

5

6

7

8

導入・発問例

- 5 ダイヤモンドのいろいろな形(シェーブ)を使って、デザイン画を描こう。
 - 6 石油は持続可能なエネルギー資源だろうか。そう考える理由は？
 - 7 ルアンダで暮らすとしたら、おこづかいは月にいくら必要になりそう？
 - 8 人工衛星の役割って何だと思う？身のまわりの出来事から考えてみよう。
- ……**美術科**
……**社会科**
……**キャリア教育**
……**技術科**

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

指導のポイント

内戦後、アンゴラは、2000年代に入って起こった石油価格の高騰を追い風に、急激な経済成長を遂げました。その後、石油価格の下落とともに低迷した経済を立て直すため、現在は農業、観光、製造業などや石油以外の資源などの多角的な

開発に力を入れている点を押さえましょう。インフラ整備の遅れや貧困については、内戦で農地が荒廃したり、地雷埋設によって耕地が減ったりしたことと関連づけて、説明しましょう。

アンゴラ重要年表

1483年	ポルトガル人が到達	2002年 4月4日	停戦合意に関する覚書の署名
16世紀中ごろ	ポルトガルが海岸地方を支配	2007年	石油輸出国機構(OPEC)に加盟
1951年	ポルトガルの海外州となる	2008年	内戦後初の国政選挙が行われる
	独立解放運動の台頭	2009年	OPECの議長国を務める
1961年	独立解放闘争が始まる	2010年 2月	新憲法が公布される
1975年 11月11日	MPLA(アンゴラ解放人民運動)がアンゴラ人民共和国の独立を宣言 ネット大統領就任 旧ソ連寄りの政権とアメリカ寄りの反政府勢力との間で内戦に	2017年 8月	ジョアン・ロウレンソ大統領が選出され、2021年現在、現職

※飛び地: カビンダ州が飛び地となった経緯をインターネットなどで調べるのもよいでしょう。カビンダ州は、沖合にアフリカ有数の油田地帯があることでも知られています。

アクティブラーニング!のポイント

アンゴラの歴史、多角的な産業開発、内戦後の貧困や国内避難民などについて、調べたり、調べたことをもとに話し合ったり、情報を整理してまとめたりする学習に役立つキーワード、検索ワードの例を紹介します。

↓調べ学習に使える! /

🔍 **検索ワード**

🔍 アンゴラ 石油 ダイヤモンド

🔍 アンゴラ 海底光ケーブル

🔍 アンゴラ 物価が高い

※アンゴラについて調べ学習を進める際は、内戦などに関連して、中学生にはインパクトが強すぎる画像などが目にふれる場合があります。注意してください。



用語解説

*1 「インフラ」

インフラストラクチャーの略で、産業や生活を支える基盤、下部構造のこと。ここでは、電気・ガス・水道を供給する設備などをさす。

*2 「国内避難民」

内戦などの暴力行為、深刻な人権侵害、自然もしくは人為的災害から逃れ、自国内で避難生活を送る人々のこと。

*お役立ちサイト

アンゴラ共和国基礎データ(外務省)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/angola/data.html>

駐日アンゴラ共和国大使館

<https://www.angola.or.jp/ja/home-ja/>

復興後の経済発展で豊かな国づくりを(JICA)

<https://www.jica.go.jp/africahiroba/article/ku57pq0002jv7y3.html>

発問例

- アンゴラの自然環境や生息する動植物の写真を探そう。
……理科
- ポルトガル語であいさつしてみよう。
……英語科
- アンゴラの人口構成にクラスの人数を当てはめよう。70歳以上は○人中、何人?
……数学科
- 「どの家庭にも5人以上子どもがいる」って、どんな状況だと思う?
……社会科

アンゴラってどんな国?

長い海岸線、高原、砂漠、景色も気候もいろいろ

さまざまな民族集団と少数民族のポルトガル系の人々が共存

ポルトガル料理やパン、スイーツが自慢

人口構成

アンゴラの中学生的こと

学校制度

教育制度の概要

アンゴラってどんな国?

学校で習っている教科

アンゴラってどんな国?

発問例

- 自分の名前の由来、知っている? どんな意味?
- ムブカカさんやスザナさんが友達と何をして過ごすのか、英語で言ってみよう。
……英語科
- 学校で習っている教科、自分たちとどう違う?
- スザナさんのように、日本や自分の住む地域を紹介してみよう。
……国語科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

指導のポイント

半乾燥地帯は、砂漠の周辺に分布するステップ(樹木のない草原)で、気温が高いところでは低木林も生えています。広い国土に熱帯雨林もありステップもある様子を、地図帳などを用いて生徒が想像できるようにします。

アンゴラ南部やナミビア北西部に住む**ヒンバの人たち**は、赤土に油をまぜたものを全身に塗って皮膚を保護します。伝統的な衣装を着た写真も、インターネットで容易に探せます。調べ学習に取り入れるときは、異文化の人々に対する生徒の反応に留意しましょう。

アンゴラでは、ブラジルの国民食といわれる「フェジョアーダ」も食されます。アンゴラとブラジルは、長い間ポルトガルの支配下で強固な言語政策を敷かれた点で共通しています。ポルトガル語圏という言葉のつながりに加え、そのような歴史の流れが生んだ人の交流や文化のつながりを、三角貿易の学習とつなげて発展的な情報として説明するとよいでしょう。

指導のポイント

アンゴラには、国内避難民が都市部に流入したり、スラムがあったりして、教育制度があってもその制度の通りに就学しない貧困状態の子どもがたくさんいます。

地域や家庭の事情から学校に通えない子どももいて、ここに載せている中学生がアンゴラの平均的な生徒の姿ではないということを説明してください。

教育制度の概要

- 学校制度
普通教育：6・3・3・4年制 新学期は2月～
 - 義務教育期間
5歳(幼稚園の1年間) 6～12歳(小学校1～6年生まで)
 - 学期制
3学期制
 - 教育概要・特色
・小学校6年、中学校3年、高校3年の修了時には試験を受ける必要があり、試験に合格できなかった際は留年となる。
 - 粗就学率^{*}(UNESCO“National Monitoring”)
小学校：113%(2015年) 中学校：72%(2016年) 高等学校：27%(2016年)
- *粗就学率(総就学率)は、留年や入学の遅れなど、定められた就学年齢でない子どもの就学が含まれるため100%を超えることがあります。



用語解説

*1「フンジ」
とうもろこしやキャッサバの粉に湯を混ぜて練り、もち状にした主食。キャッサバは芋の一種で、タピオカの原料になる。

*お役立ちサイト

世界の学校を見てみよう・アンゴラ共和国(外務省)
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kuni/angola.html>

アクティブ・ラーニング!のポイント

アンゴラの自然と環境、少数民族の暮らし、食文化、ポルトガルとのつながりなどについて、状況に応じてペアやグループなどで学習し、学んだことをPCやタブレットでまとめるなどのICT活用にもつなげましょう。

ムブカカさんやスザナさんのように「自分の生活を紹介する文を書く」などにも挑戦し、自分の生活を振り返ったり、アンゴラの中学生と比較したりしてみましょう。

調べ学習に使える!

検索ワード

- アンゴラ 自然 気候
- アンゴラ料理 ポルトガル
- アンゴラ 少数民族 ヒンバ

発問例

- 1 アンゴラの子女子ハンドボールチームの試合を見てみよう。
……保健体育科
- 2 柔道や空手にはどんな規律や礼儀作法がある？
……保健体育科
- 3 アンブティサッカーはパラリンピックの競技に入っているかな？
- 4 センバやキゾンバ、クドゥーロを聞いてみよう。
自由に踊ってみよう。
……音楽科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。



発問例

- 5 この風景に「月の展望台」以外の名前をつけたら？
……国語科
- 6 アンゴラを流れる川はどこへ行くだろう。地図帳で見よう。
……社会科
- 7 写真を見ながら、パラカンネグラのスケッチをしよう。
……美術科
- 8 写真の動植物を英語で紹介してみよう。
……英語科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

指導のポイント

女子ハンドボールチームは2019年の世界選手権大会にも来日し、熊本県玉名市に滞在。同市のウェブサイトから試合の様子などを知ることができます。

アンブティサッカーについては、切断障がいとあわせて、リハビリとしても取り組める競技である点を押さえます。2021年現在、アンブティサッカーはパラリンピック競技には入っていません。日本では2010年に普及活動が始まった、歴史の浅いスポーツです。障がいのある人々のスポーツについて考えるきっかけにしましょう。

音楽とダンスについては、**センバ**がサンバのルーツとわかる曲を聞くなどしましょう。ブラジルに連行された奴隷の多くが、現在のアンゴラに住んでいた人々だったことから、アンゴラの伝統音楽のセンバがサンバのルーツであるといわれています。

アンゴラの課題について

国土に残る地雷の除去

内戦によって埋められた地雷の範囲は、アンゴラの全土に及びました。地雷が埋められたままの土地は、農地にもできず、家屋を建設することもできません。

2002年の内戦終了後、地雷除去活動が本格的に始まりました。地雷の危険区域は、2007年には3277か所ありましたが、2018年には1416か所に減りました。アンゴラ政府は、2025年末までに地雷除去を完了することを目指しています。

地雷除去活動については、日本が地雷除去機の調達や地雷専門家の派遣などで多角的に協力している点を説明しましょう。

(くわしくは15ページ)

指導のポイント

まずは、山岳地帯に降る雨が川に注ぎ、巨大な滝を生み出す壮大な風景について、写真などから想像を促しましょう。大西洋に注ぐクワンザ川、国境を越えてインド洋に注ぐザンベジ川、カラハリ砂漠北部に入って自然に蒸発してしまうオカバンゴ川の流れを地図帳でた

どって見るのもよいでしょう。特にオカバンゴ川は、海に出口をもたない「内陸河川」であることを説明してもよいでしょう。内陸河川の多くは湖に注ぎますが、乾燥地域では砂漠に入ると水が干涸び、未無川(水無し川)になります。

アクティブラーニング!のポイント

アンゴラで流行するスポーツから、柔道・空手の規律や礼儀作法がなぜ尊ばれるのか考える、アンブティサッカーを通じて障がいのある人のスポーツについて調べる、国立公園の動植物を通じて生態系の保護活動についてまとめるなどは、「深い学び」につながる学習活動です。

調べ学習に使える!

検索ワード

- アンゴラ 女子ハンドボール 玉名市
- アンゴラ センバ サンバのルーツ
- アンゴラ 滝 オカバンゴ川



14～15ページ

発問例

- 1 自分やきょうだいの母子健康手帳を見たことがある？ どんなことが書かれていた？
……保健体育科
- 2 母子健康手帳を使う人が増えるようにする方法を考えてみよう。
- 3 「JICAの協力」は、上に書かれている文の中の、どの問題とつながっているだろうか。
- 4 赤ちゃんの誕生や成長に関わる仕事には、どんなものがあるだろう。
……キャリア教育

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。



*お役立ちサイト

母子健康手帳PDF(在アンゴラ日本国大使館)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000480451.pdf>

母子健康手帳を通じた母子保健サービス向上プロジェクト(JICA)

<https://www.jica.go.jp/project/angola/001/index.html>



指導のポイント

アンゴラでは、情報の不足、行政サービスや官僚制度の脆弱さが原因で、時に出生登録すら難しい状況があります。親が出生登録証を受け取るのに3か月かかったり、登録されない子どもが孤児として扱われたりすることもあります。

出生登録も含めて、子どもが健やかに成長するために必要な設備や人材など、母子をめぐめる環境をよくすることの重要性について話し合みましょう。環境を整えて命を守ることの大切さに気づく生徒の姿を見取りましょう。

アクティブ・ラーニング!のポイント

アンゴラでは、国の富が一部のみに集中しているために、多くの人が貧困にあえぎ、十分な教育を受けられず、衛生的で安全な環境を手に入れられません。そういった課題に気づき、JICAなどの協力との関連について考察できるような学習テーマを設定しましょう。

「調べ学習に使える!」

🔍 検索ワード

🔍 アンゴラ 母子健康手帳 JICA

🔍 ユニセフ アンゴラ

アンゴラの課題とそれに対するJICAの協力

*下線部(~~~~)は、SDGsの169のターゲットからの記載です。(SDGs CLUB/UNICEF参照。https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/)

・課題・国土に残る地雷の撤去

JICAの協力活動

【紙教材11ページ】 今も人々の生活をおびやかす地雷

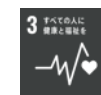


JICAでは、地雷除去の専門家をアンゴラに派遣したり、除去活動の研修などを行ったりして、アンゴラ地雷をなくす取り組みに協力しています。地雷をなくす取り組みはSDGs 4「持続可能なまちづくり」やSDGs 4「安全で暴力的でない、だれも取り残さない学習環境」につながります。

・課題・医療サービスの不足

JICAの協力活動

【紙教材15ページ】 医療施設の整備



SDGs 3「医療施設の整備は、「赤ちゃんや幼い子どもが予防できる原因で命を落とすことがないようにする」ために不可欠です。JICAでは、ジョシナ・マシエル病院と公共医療施設の協働体制を立ち上げ、外来診療ができる一次保健施設を再活性化させて、保健医療水準の向上に協力しています。

・課題・専門性の高い人材の不足

JICAの協力活動

【紙教材15ページ】 人材を育てる



SDGs 4「すべての人が性や出産に関して保健サービスや教育を受けられるようにする」ためには、SDGs 6「安全な水の利用」や、SDGs 7「安定的で現代的なエネルギーの使用」も大切です。JICAでは、母子健康手帳の運用に関わる管理体制の構築などによって、母子健康指標の改善に協力しています。また、電力の安定供給を目指した電力開発の円滑な実施などにも協力しています。

・課題・栄養不足の問題

JICAの協力活動

【紙教材15ページ】 農業でも応援



SDGs 2「適切な栄養がとれずに成長が妨げられる5歳未満の子どもを減らす」ためには、栄養価の高い米や野菜の生産量を増やす必要があります。JICAでは、アンゴラの稲作の現状を調査し、灌漑開発の方針を決めたり、小規模農家が活用できる稲作技術の開発に取り組んだりしています。

JICAとは

JICA(独立行政法人 国際協力機構)は、日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。くわしくは、アフリカ編紙教材の指導書やJICA公式サイトで確認しましょう。(https://www.jica.go.jp/index.html)

アンゴラにおいては、経済開発(人材育成、基礎インフラ、農業)、平和の定着、人間の安全保障(保健)の分野で協力活動を行っています。上記は、その一例です。

「国際協力について知る!」

🔍 検索ワード

🔍 国際協力 日本 JICA

🔍 国際協力 国連 SDGs

🔍 JICA 各国における取り組み アンゴラ